

1
28.10.21800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告 第1722号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）

イ 活動命令

- (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
- (イ) 視察・来隊予定
- (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

凡例 赤字：変化事項

1 情 勢

(1) 全 域

ア 和平合意関連

和平合意は、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において提示された全ての要求に取り組むことを合意し、何らかの進展はあるものと思料

加えて、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する武力闘争も辞さない姿勢を示したことから、SPLA-iO指導部の分裂、SPLAに統合されていたSPLA-iOの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部、西部及び南部においてSPLAとSPLA-iOの小規模な戦闘が発生、特に、南部地方においては、ジュバクライシス以降、SPLAとSPLA-iO等との間での戦闘が継続しており、報復及び治安の悪化は継続するものと思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると思料。また、マシャル氏の国外逃亡により大規模な部隊移動及び戦闘の公算は低下していると思料。

イ その他の情報資料

UNDPKO及び安保理からUNMISSマンデートの妨害に関する懸念やマシャル氏を政治的指導者と認めるととられるような発言が表明されるとともに、南スーダン政府側からはDRC（コンゴ民主共和国）でのUNによるSPLA-iOの救助支援に対する不満が示される等、**対UN感情は悪化していたが**、UNMISSのマンデート修正に関する調査団の来訪及び制裁専門家パネル委員会の報告後に、**キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めており、対UN感情の変化には注視が必要**

(2) ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせてはいるものの、ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの小規模なSPLAとSPLA-iOの戦闘及び東エクアトリアー帯での武装集団による車両への襲撃事案が継続、また、**ジュバ市外への移動には危険が伴う可能性**

凡例 赤字：変化事項

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、経済は低迷（闇：1\$=75SSP）し犯罪等が発生しやすい状態であり、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視

では、常続的に射撃が確認されており、
が得られ、UNハウス周辺における草刈り、UNMISSによる徒歩巡察等が開始されたものの、
が発生しており、各種活動時には流れ弾及び巻き込まれには引き続き注意が必要

UNトンピン内のIDP移送及び退去は9月28日をもって完了し、IDPはUNトンピン内には所在していないが、遺棄物品や汚染された土壌には注意が必要

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、10月3日にも野党党首がカンパラで会見を開く予定であることから、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びSPLAによる検問周辺での流れ弾には注意が必要

なお、UNハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するSPLA兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

2 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：10t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

なし

(イ) インフラ整備

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

なし

(イ) 業務調整

なし

(ウ) 宿営地内活動

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

(I) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

工	表敬等
	なし
才	各種行事
	なし
力	国際機関等連携案件
	なし

3 明日の活動予定

- (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びUNトンピン地区退避壕構築、ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区及びUNハウス地区における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

a UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

b ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区におけるルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築

c 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区内におけるプレハブ構築

d UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

e UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

- (イ) インフラ整備
なし
- ウ その他の活動
 - (ア) 情報活動
 - a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動
 - b 警備小隊等をもって、ジュバ市内及びUNハウス地区における高官対応経路確認
 - (イ) 業務調整
隊本部等による、UNトンピン地区、UNハウス地区及びジュバ市内における業務調整
 - (ウ) 宿营地内活動
 - a 本部付隊をもって、宿营地管理業務
 - b 第1施設小隊をもって、宿营地整備
 - (I) 教育訓練等
なし
 - (オ) 民生協力
なし
 - (カ) 隊本部による、MOVCONにおけるジュバ空港へのウガンダ出張者送迎
 - (キ) 隊本部による、UNトンピン地区内におけるUNとの資材調整
- エ 表敬等
なし
- オ 各種行事
なし
- カ 国際機関等連携案件
なし

1 本日の成果

別紙第1「活動概要」
別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／4）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 1200	トランジット エチオピア歩兵大隊 ネパール歩兵中隊	2	給水車×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／4）



活動概要（UNハウス）（3／4）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／4）

ジュバ市内活動部隊なし

本日の活動成果

14
別紙第2-2

本日、施設活動なし

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 和平合意履行に関する情報

- 30日、南スーダン政府は、ジュバ空港及び重要施設防護のための国連による地域保護部隊の受入れの立場へ方針変更した模様

同議決はキール大統領が議長を務める金曜の定例閣議において採択されており、「できる限り早期にジュバへ部隊配置できるように、UNMISS及び国連安保理へ協力することを全政府職員へ、特に治安機関に、内閣は指示した」旨、内閣担当相マーティン・ロモロ氏は発言した模様

(1日 SudanTribune "S Sudan accepts deployment of UN authorized troops")

→ 地域保護部隊配置に関する国内における理解及び進捗が見られ、行動の自由の阻害等のSOF A違反も低減するものと思料

(2) 和平合意不履行に関する情報 新規追加事象なし

(3) その他入手した主要な情報資料

- 30日、エジプト（正式名称：エジプト＝アラブ共和国）は、南スーダンへの国連地域保護部隊派遣参加に対して前向きに準備を進めている事が、アフリカ連合の安保理発表により明らかになった模様

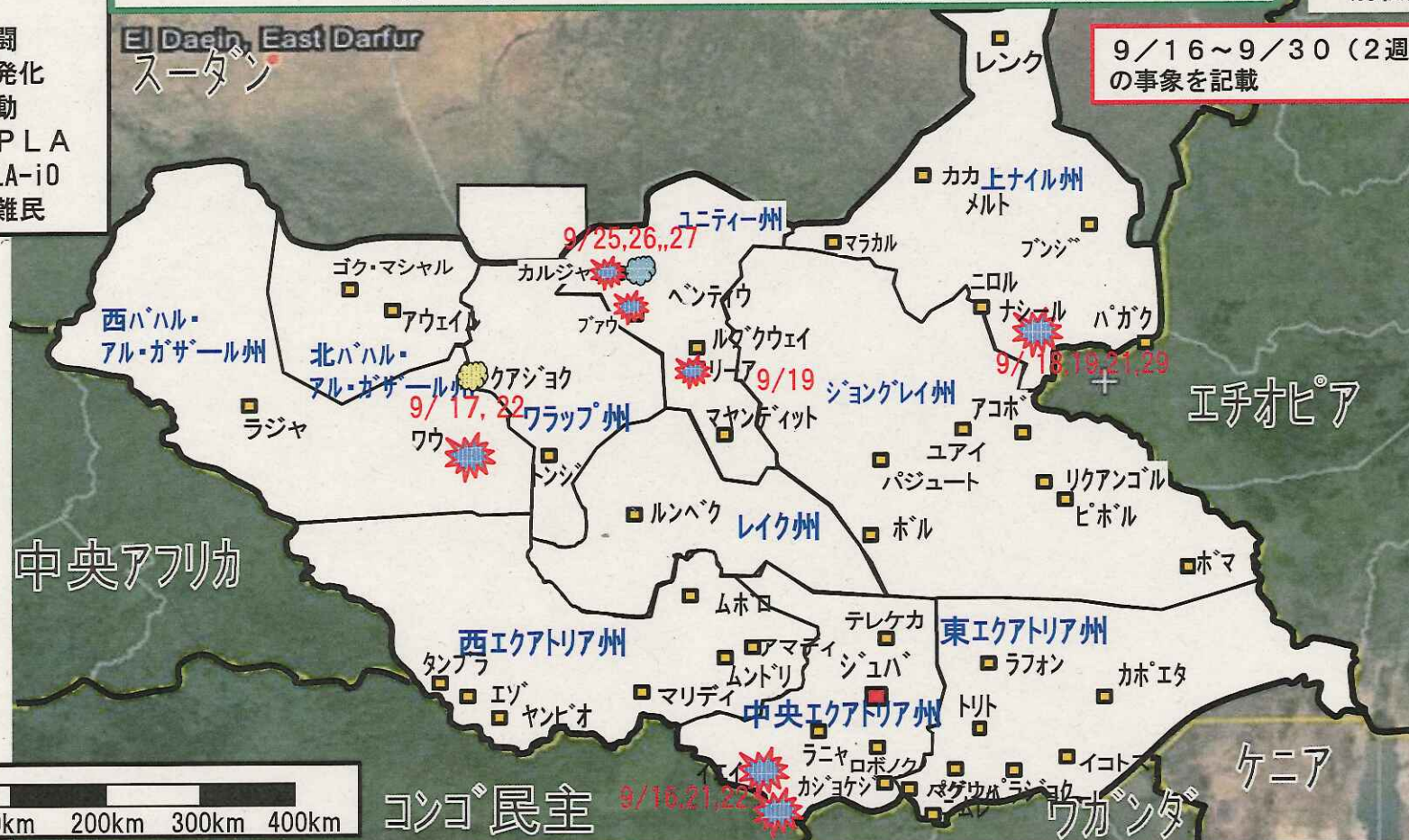
(1日 THE DAWN "Egypt ready to deploy in S Sudan")

→ 隣接国ではなく、スーダンと敵対的なエジプトが派遣を検討することで、地域保護部隊配置に向けた進捗が見られるものと思料

情 勢 (2/5) / Situation

- 凡 例
-  : 戦闘
 -  : 活発化
 -  : 移動
 - 青 : SPLA
 - 赤 : SPLA-iD
 - 黒 : 避難民

9/16～9/30 (2週間分)
の事象を記載



評 価

和平合意

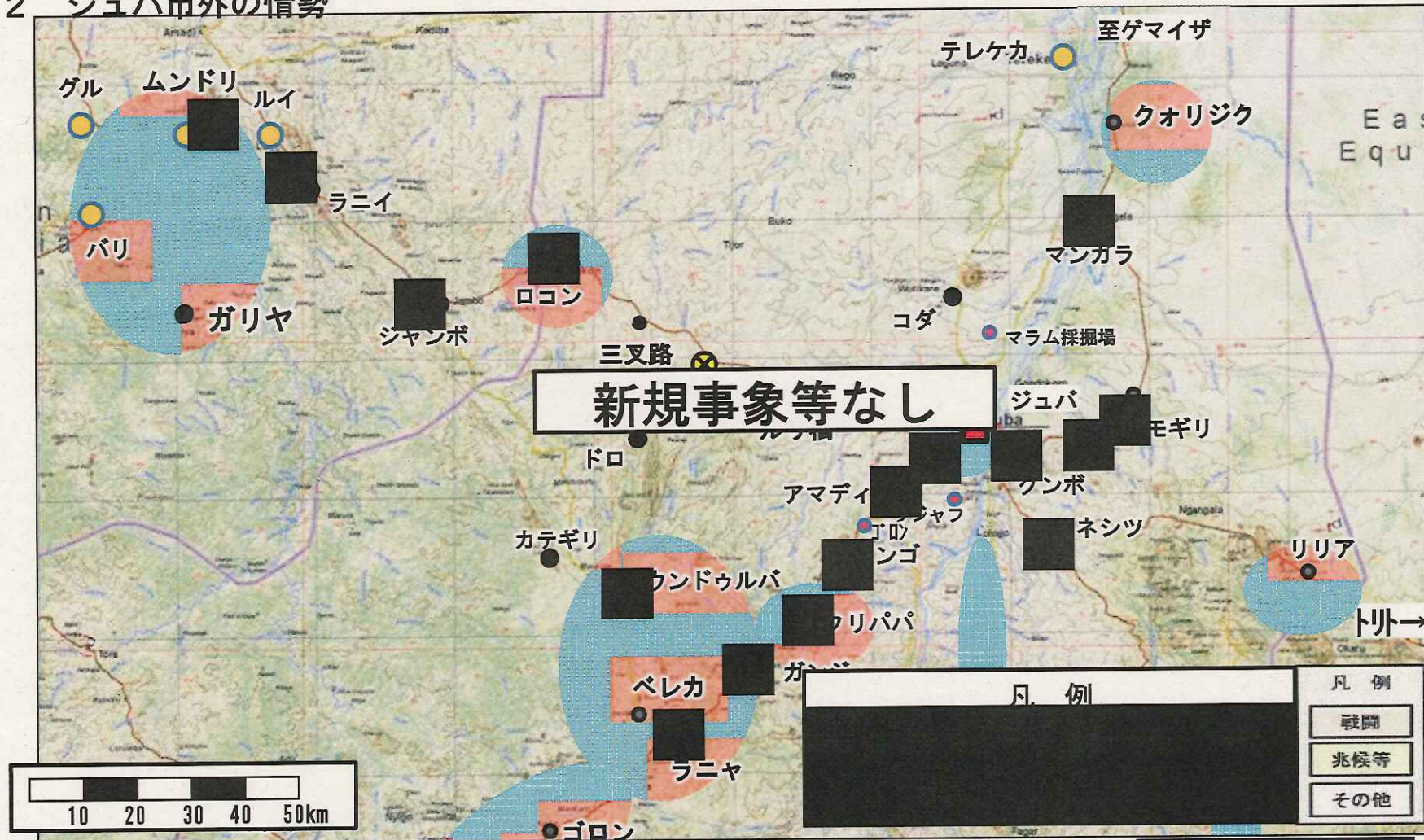
和平合意については、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、JVMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示していることから、今後も逐次、協議が開催されるものと思料

北部、南部及び西部において、SPLAとSPLA-iDとの小規模な戦闘が継続しており、マシヤル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力闘争の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要

その他の事象

南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、**国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要**

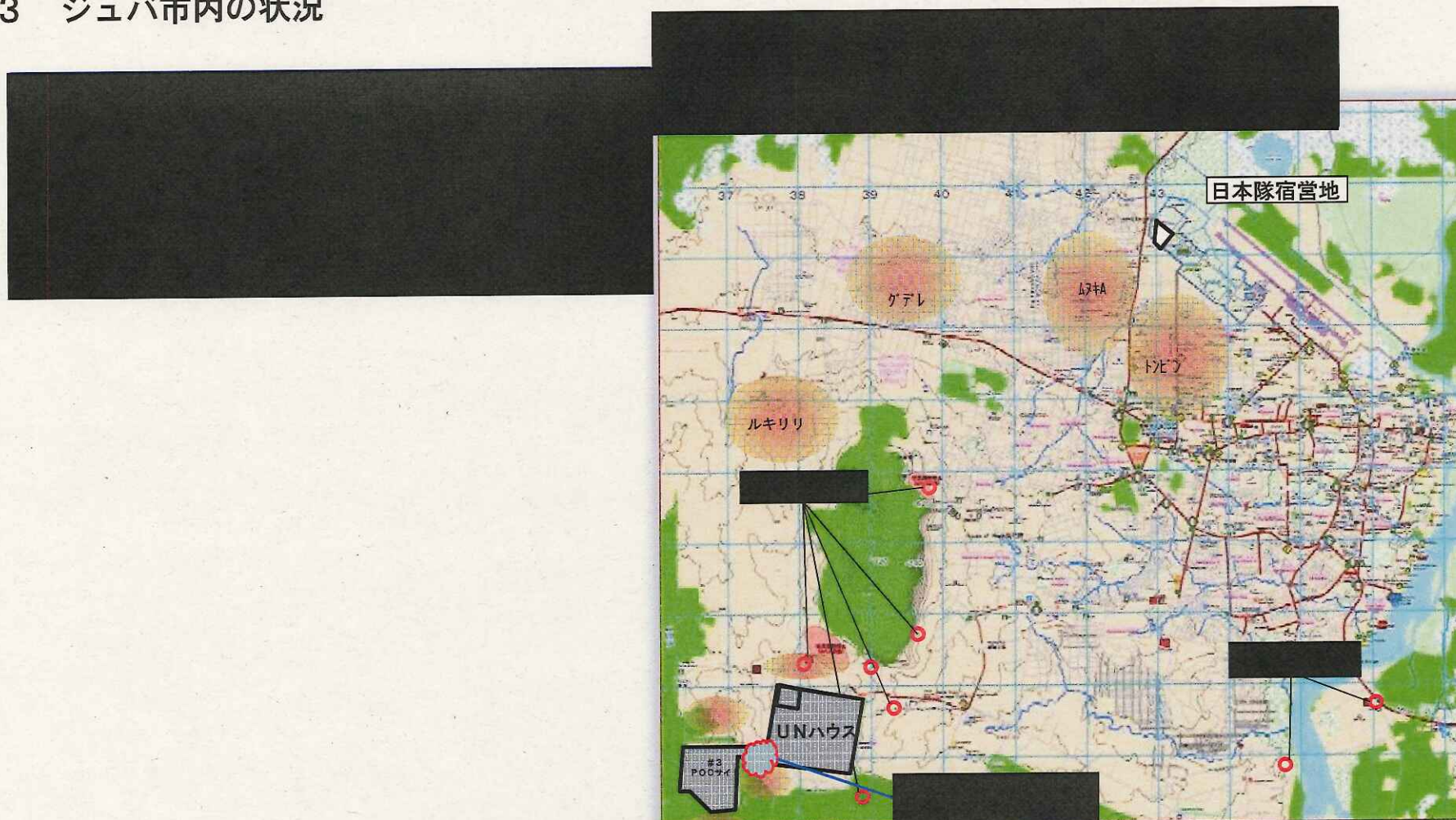
2 ジュバ市外の情勢



評 価

ジュバ西部は一定の落ち着きを取り戻している模様、しかしながら郊外、
ことから情報は限定的だが、避難民のコンゴ民主共和国への流入等から周辺における戦闘は継続しているものと思料され、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

3 ジュバ市内の状況



評 価

ジュバ市内は、昼間は平穏な状況に戻りつつあるが、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃や発砲することから生じる流れ弾には注意が必要
また、[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、引き続き各種活動時には流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

情 勢 (5 / 5) / Situation

20

別紙第3-5

4 気 象 (0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	23℃	39℃	26%	70%	0mm	
カンパラ	晴れ時々雨	16℃	31℃	50%	96%	8mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

21

別紙第4-1

10月2日1300c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100%	な し	
車 両	100%	な し	
施 設	100%	な し	
通 信	100%	な し	
需 品	100%	な し	
衛 生	100%	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 整備完了まで予備の220KVA 発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

22

別紙第4-2

10月2日1300c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻	9mm打がら薬きょう					
	5. 5 6 mm打がら薬きょう					
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

23

別紙第4-3

10月2日1300c

喫食者数：320名（総数353名 戦力回復33名）

区 分	品 名		取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型					
		市販型					
		アルファ米					
		UN非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	UN食材	生 鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生 鮮					
		冷 凍					
そ の 他	加熱剤						
燃 料	COE	UN軽油（発電機）					
	NOE	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン（調達品）					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

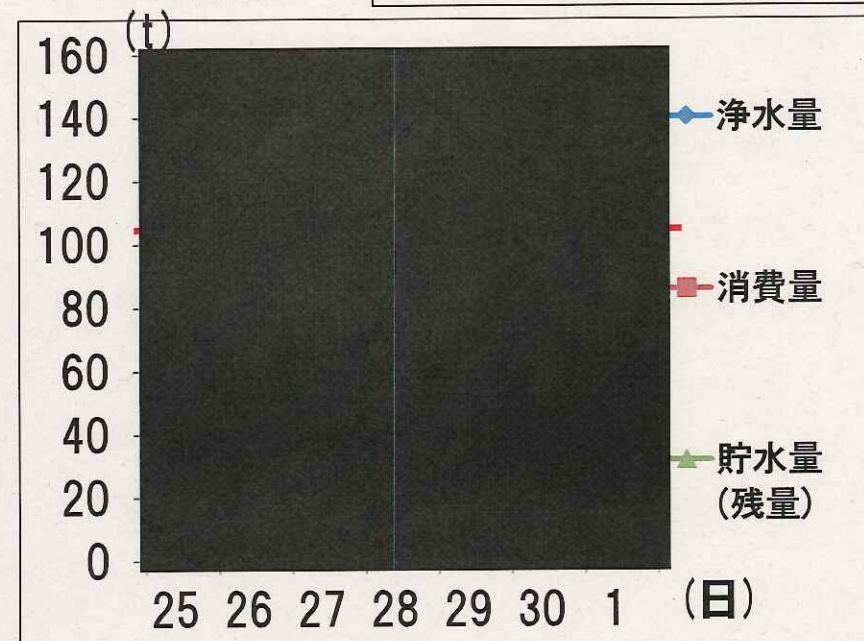
24
別紙第4-4

10月2日1300c

【H28.10】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
日	25			
月	26			
火	27			
水	28			
木	29			
金	30			
土	1			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	
トランジット	3
ネパールFPU	
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	8
合 計	11

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手による対応が必要である。

○9月20日第4井戸の深さ調査を実施

深さ:24m(8月16日の故障時から変化なし)

※ 貯水の危険水位:

(注)日々の消費量が を超える日が で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計 1 名

10月 1日 1800c
~ 10月 2日 1800c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
本部付隊	1 名		

凡例： (再) → 再 診

人員現況／Personnel Status

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	33	320	○国連休暇 (33名)	副隊長休暇中につき不在

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

凡例 青字：不在者

活動の分析及び評価

27
別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿営地	流れ弾	9/14, 18, 21, 22, 23, 25, 27, 28 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表团来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3POCサイト	IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
		IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシャル派による平和的デモ 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

28

別紙第7-2

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	
		9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
		8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家バ ン報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り	
	ジュバ市内	流れ弾	
		9/22 夜間のムン地区で10発以上の射撃	
	ジュバ郊外 （ロコ、ラニヤ、トリ、マナガラ）	戦闘への巻き込まれ	
		ハラスメント	
		武装強盗への巻き込まれ	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン 活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス 活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POC サイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POC サイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

30

別紙第7-4

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外 活動 (ロコ)、テニヤ、 トリ、マガラ)	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、
での常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したSPLA兵士
が確認されるとともに、IDPが火器を保有している可能性は否定
できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高
い。

特に、

や現地雇用のUN職員の拘束も発生
しており、ハラスメントへの巻き込まれには引き続き注意が必要

また、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が
必要

さらに、ジュバ市内においては昼間の治安は改善傾向にあるもの
の、一部地域で主に夜間に銃犯罪が発生していることから流れ弾に
注意が必要

また、UNDPKO及び安保理からUNMIS Sマンデートの妨
害に関する懸念が表明されるとともに、南スーダン政府側の対UN
感情も悪化していたが、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に
協力的な姿勢を見せ始める等、対UN感情の変化には注視が必要

加えて、マシャル氏がキール政権に対する武力闘争を宣言したこ
とから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要

総 括

32

別紙第 7 - 6

評 価 (総括)	- 宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う各種整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 - ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性はあるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、移動時間、移動経路の指定など処置が必要 - UNハウスにおける活動は、UNハウス西側及び南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、UNハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要								
処置・対策	<table border="1"> <tr> <td>IDPとの小競合い</td><td rowspan="7"></td></tr> <tr> <td>物品の盗難</td></tr> <tr> <td>疾病罹患</td></tr> <tr> <td>流れ弾対処</td></tr> <tr> <td>IDPデモ対処</td></tr> <tr> <td>SPLA等によるハラスメント</td></tr> <tr> <td>戦闘への巻き込まれ</td></tr> </table>	IDPとの小競合い		物品の盗難	疾病罹患	流れ弾対処	IDPデモ対処	SPLA等によるハラスメント	戦闘への巻き込まれ
IDPとの小競合い									
物品の盗難									
疾病罹患									
流れ弾対処									
IDPデモ対処									
SPLA等によるハラスメント									
戦闘への巻き込まれ									

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

10月3日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

- 2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びUNトンピン地区退避壕構築、ルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNハウス地区

a ハウス西側外柵沿い レベル

b ハウス南側弾薬庫地域 レベル

(イ) UNトンピン地区 レベル

(ウ) ジュバ市内

a 空港地区 レベル

b zone 1 (ジュバナバリ) レベル

c zone 4 (ジュバタウン) レベル

d zone 5 (ハイシネマ) レベル

イ 宿営地警備

3 (1) E q P t (施設器材小隊)

ア 2名を3 E P tに差出

イ P t (一)

UNトンピン地区退避壕構築及びルワンダ歩兵大隊弾薬庫土塁構築、状況により臨時工兵課タスクの実施

(2) 1 E P t (第1施設小隊)

UNトンピン地区英軍LOプレハブ構築及び宿営地整備

(3) 2 E P t (第2施設小隊)

UNハウス地区西側外壁構築

(4) 3 E P t (+) (第3施設小隊)

+ 2名 / E q P t

UNハウス地区弾薬庫増設

(5) S e c P t (警備小隊)

宿営地警備、同行警備、経路確認及び

(6) H Q U (本部付隊)

宿営地維持・管理活動、UNハウス・トンピン地区内給水活動、経路確認及び

(7) M I S e c (情報班)

ジュバ市内、及びUNトンピン地区における情報収集

(8) G u a r d S e c (警護班)

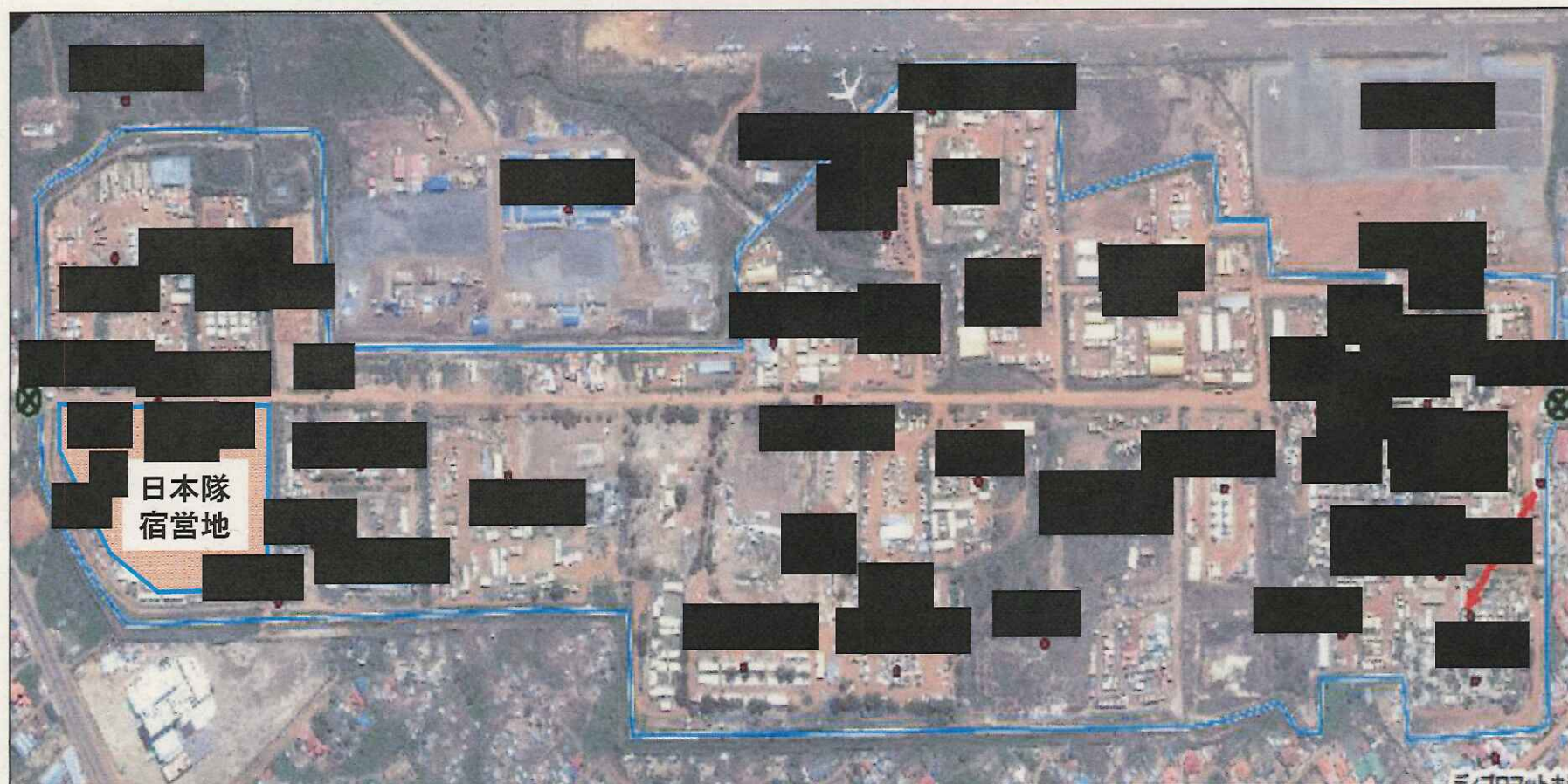
経路確認

(9) M P S e c (警務班)

活動概要（UNトンピン地区）（1／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	15	中型×1、小型×1 油圧×1、ロードローラ×1	
②		ルワンダ歩兵大隊 弾薬庫土塁構築		0800～ 1600	ルワンダ歩兵大隊	13	中型×1、クレーン×1 油圧×1、バケット×1 特大型×2	
③		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800～ 1600	エチオピア 歩兵大隊北側	13	高機×1、中型×1 大型×1	
④	その他	給 水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2	給水車×1	
⑤	その他	給 水	補給班	0900～ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
⑥		業務調整（連絡）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	UNトンピン内	3	小型×1	
⑦		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	UNトンピン内	3	小型×1	
⑧		業務調整（輸送） ウガンダ出張者送迎	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑨		業務調整（法務）	隊本部 (法務官)	0730～ 1200	UNトンピン内	3	小型×1	
⑩		UN資材調整	隊本部 (S-4)	0800～ 1600	ログベース	3	小型×1	
⑪		広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑫		情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑬	施設	宿营地整備	1小隊	0800～ 1600	宿营地	14	小油圧×1、資材運搬車×2	

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）

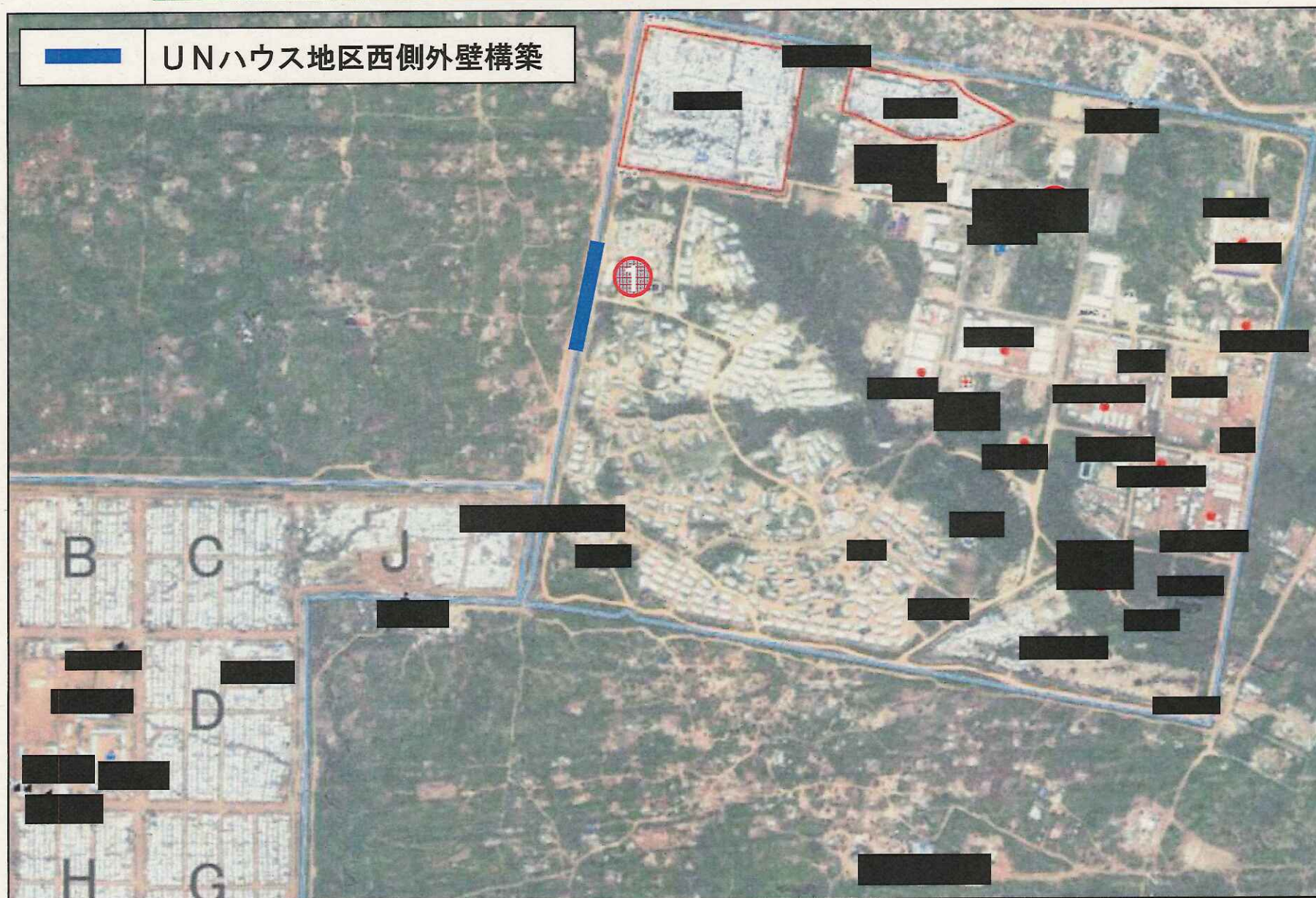


	広報活動
	情報収集

活動概要（UNハウス地区）（3／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0745～ 1630	UNハウス西側	21	高機×3、大型×2 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②	施設	UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊 器材小隊	0746～ 1630	弾薬庫	20	高機×2、大型×2 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③	その他	業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0747～ 1300	工兵課	2	高機×1	
④		広報活動	隊本部 (広報)	0747～ 1300	UNハウス	2	高機×1	
⑤		給 水	補給班	0747～ 1630	ネパールFPU	2	給水車×1	

活動概要（UNハウス地区）（4／7）



活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②	その他	現地調達	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	ジュバ市内	3	高機×1	
③		経路確認 (高官対応経路)	警護班 警備小隊 通信班	0830～ 1500	ジュバ市内 UNハウス			
④		業務調整（広報）	隊本部 (広報)	1330～ 1630	情報放送省 ジュバ空港	2	高機×1	

活動概要（ジュバ市内）（6／7）

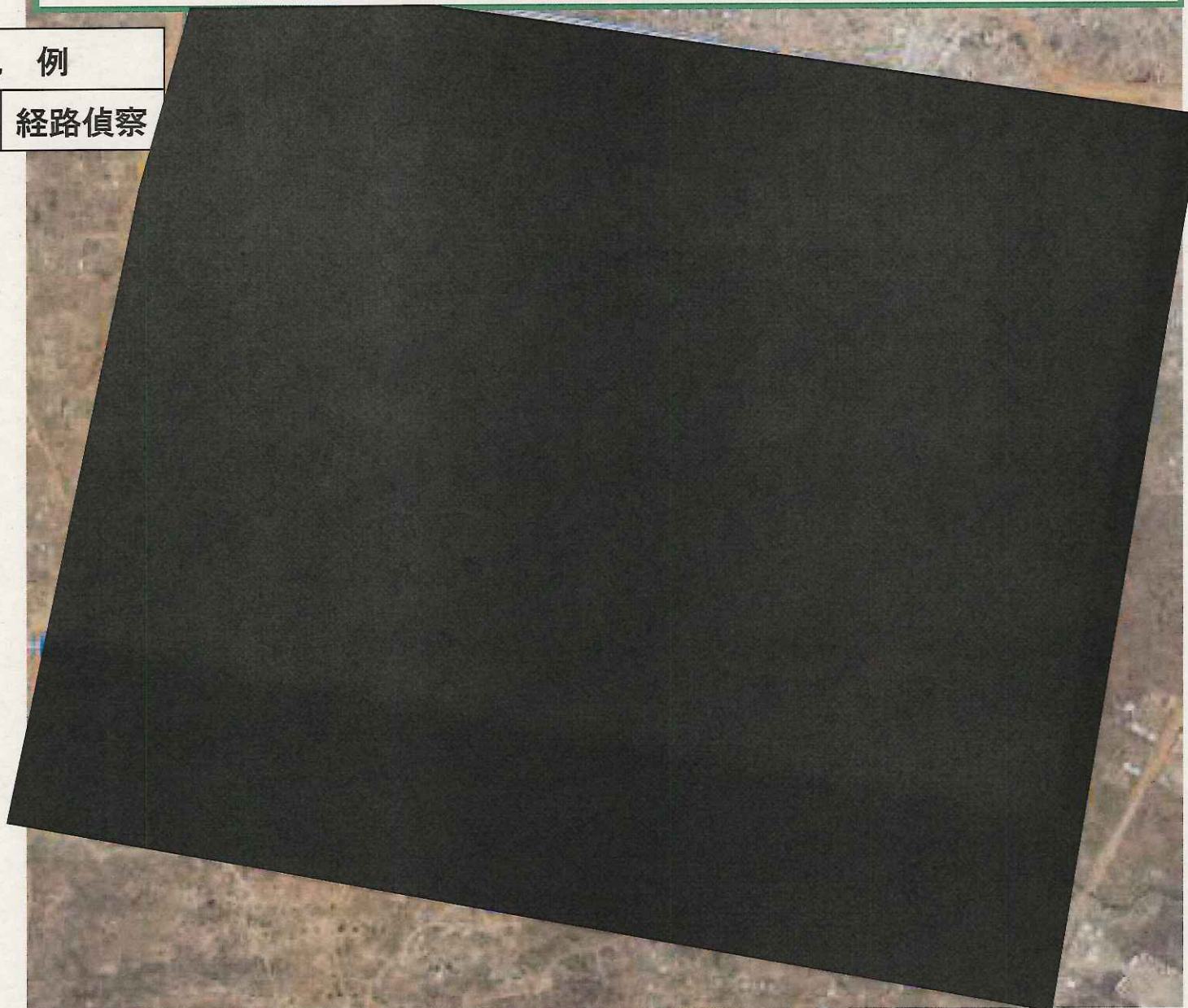


UNハウス地区経路偵察（7 / 7）

凡 例



経路偵察



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
	視察・来隊者等なし	

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

10月 月間業務予定

[illegible]

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練「#4さくらPJ」	MTC	実施の可否について再検討	MTC JICA	JICAの年内帰国は困難の見通し	
		フリーダムブリッジにおける 作業支援	・JICA ・大日本 土木	CRFにおいて実施の可否に ついて検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等 連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港 建設PJに伴う水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課からタスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	UNOPSに状況確認中(現在返信なし)	

※ UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

赤字：変化事項

凡 例 ◎： タスク化成立 ○： 自隊による実施 ×： 実行の可能性低 ー： 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5 參考資料

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		2 日 (日)	3 日 (月)	4 日 (火)	5 日 (水)	6 日 (木)
主要な活動			会計幹部ウガンダ出張 UNの基盤整備			
						市内研修
		国連休暇 (5 Gp)				国連休暇 (6 Gp)
Juba	天 気					
	気温 (°C)	3 6 / 2 3	3 4 / 2 2	3 6 / 2 3	3 5 / 2 3	4 0 / 2 3
	降水確率	8 0 %	9 0 %	1 0 %	9 0 %	7 0 %
	雨量	8 mm	1 2 mm	0 mm	5 mm	0 mm
	評価					
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	3 4 / 1 6	3 1 / 1 5	3 0 / 1 6	3 2 / 1 5	3 0 / 1 7
	降水確率	9 0 %	9 0 %	9 0 %	9 0 %	0 %
	雨量	2 mm	1 mm	1 1 mm	0 mm	0 mm

凡例 影響度:

問題なし

<

一部制限

<

実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価
Assessment

- 1 ジュバは期間を通じて不安定な天候が予想され、一時的に施設作業に影響を及ぼす可能性があり、注意が必要
- 2 ウガンダは不安定な天候が予想され、局所的な雨に注意

赤字：強調

区分	4月	5月	6月	7月			8月			9月		10月	11月	12月	評価				
全般	29 29	31	23	8	11	16	18	5	12	15	18	31	13~ 14	28	30	12	12	15	評価
軍	停戦				停戦合意	散発的な戦闘													
	外国軍撤退					ウガンダ軍展開 (自国民保護)													
	ジュバ非武装化						29	1	5										
	統合																		
	議会の拡大																		
	権力配分																		
	選挙																		
政府樹立	憲法修正																		

和平合意については、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意したことから、何らかの進展はあるものと思料

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015. 8

2016. 7

2018 →

安定

不安定

和平
合意

合意履行状況



不履行 ● ● ● ● ● ● 履行 ● ● ● ● ● ●

暫定
政府

不安定要素

ジュバ
戦闘

政府
樹立

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴う **UN活動の停止**
- 武力衝突・[]に伴う、**活動の制限**
- []による**負傷者発生**
- ジュバ市内での大量の **IDPの発生**
- チェックポイント警戒強化(私の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴う **UNマンドートの変更**
- 少数派による**新体制批判デモ**
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- **SPLAと地元住民との係争**
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（2016年9月27日現在）



 **エチオピア**
歩兵大隊Ⅰ
(本部:本部ジュバ)

 **ネパール**
歩兵大隊Ⅱ
(本部:本部ジュバ)

 **中国**
歩兵大隊 (本部:ジュバ)

 **ルワンダ**
歩兵大隊Ⅰ
(本部:本部ジュバ)

航空部隊
(本部:本部ジュバ)

 **日本**
施設部隊
(本部:本部ジュバ)

 **バングラデシュ**
施設部隊: (本部:本部ジュバ)
河川部隊: (本部:本部ジュバ)

 **カンボジア**
憲兵隊: (本部:本部ジュバ)
医療部隊: (本部:本部ジュバ)

 **インド**
歩兵大隊Ⅱ
(本部:本部ジュバ)

 **エチオピア**
歩兵大隊Ⅱ

 = 増派部隊

 = 後方支援部隊

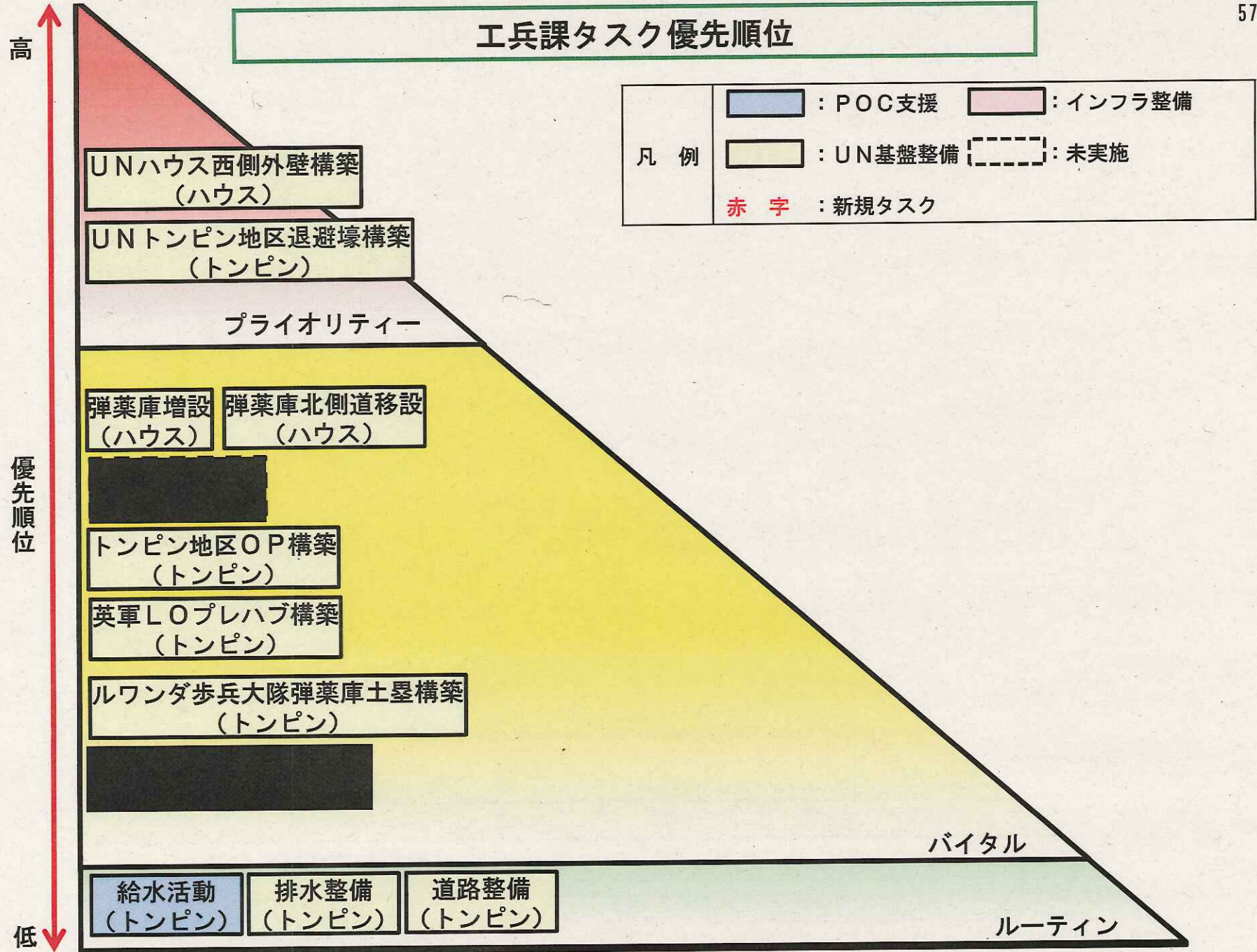
人員現況（第10次要員）

56
28.10.2
1500c

場 所	部 隊		総 員	内 訳			現在員	事故	理由
				幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部								国連休暇 5 名
	本部付隊	付隊本部							国連休暇 1 名
		隊本部班							国連休暇 3 名
		整備班							国連休暇 3 名
		補給班							国連休暇 3 名
		通信班							
		衛生班							国連休暇 1 名
		営繕班							
		施設器材小隊							国連休暇 3 名
	第 1 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 2 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 3 施設小隊							国連休暇 2 名	
	警備小隊							国連休暇 4 名	
	情報班							国連休暇 1 名	
	警護班							国連休暇 1 名	
派遣警務班									
合 計			353	65	252	36	320	33	

凡例 青字：不在者

工兵課タスク優先順位



10月2日タスク等現況（1／2）

凡 例		: POC支援		: インフラ整備		: UN基盤整備		: 国際機関等連携案件
-----	--	---------	--	----------	--	----------	--	-------------

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	工程修正中				
470	UN 基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	UNハウス	道路移設	実施 計画				マラム待ち
469	UN 基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
503	UN 基盤整備	6	英軍LOプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	工程表作成中				
502	UN 基盤整備	7	ルワンダ歩兵大隊 弾薬庫土塁構築	UNトンピン	土塁構築	実施 計画				
325	POC 支援	8	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	10	道路整備	UNトンピン	道路整備					

10月2日タスク等現況（2／2）

59

凡 例

：UN基盤整備

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						
500	UN 基盤整備			ジュバ市内						

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第10次要員）	
503 (488)	プライオリティー	14
	バイタル	63
	ルーティン	3
	80	
	完 了	68
	実施中	10
	未実施	2
	計	

地域脅威レベル評価（10月3日）

60
2016. 9. 30

1 レベル	2 レベル	3 レベル	4 レベル	5 レベル	6 レベル

隊員服装・装備等基準

61

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢

(10月2日1700現在)

62J

